

# 2018 創立記念礼拝で。

1月15日(月)に創立(創基)記念礼拝を行いました。遺愛は今年、創基144年(ハリス夫妻が来函して日日学校を始めて)、創立136年(キャロラインライトメモリアルスクール開校して)を迎えました。毎年、1月に行われる創立記念礼拝では、クリスチャンの同窓生をお迎えして、遺愛時代のお話やその後の人生についてお話していただいています。

今年は、同窓会宮城県支部長でK11回生の長谷川孝子さんをお迎えしました。…在学中は、宗教的には決して真面目とは言えず、聖書の授業時間は英単語を覚えたり、数学を解いたりして内職していたような生徒でした。卒業後も久しくキリスト教とは無縁でしたが、教会に通うようになったのは、3番目に誕生した息子がダウン症だったことがきっかけでした。それまでは、自分の意志と努力で何でもできると、子育ても含めてほぼ完璧な生活をおくってきたのに、なぜ障がいを持った子どもを自分は授かったのか、本当に悩み苦しみました。その子と共に死のうと思ったことも何度かありました。ただ上に2人の娘がいたので、かろうじて踏みとどまりました。そんな時に出会いがあって、教会に通うようになり、クリスチャンになりました。教会で聖書を学ぶうちに、神様があえてこの息子を自分に授けてくれたのだと信じられるようになりました。そうすると、世界が違って見えるようになってきて、自分の意志と努力だけでは解決できないことがこの世にはあることを学ばされました。この息子を授かってなければ、娘たちを自分の思い通りに完璧に育てようとして、悲惨な事件を招いたかもしれませぬ。息子を通して、色々な出会いがあり、新しい世界がひろがってきて、それらすべては神様の導きであり恵みだと信じられるようになりました。…と語ってくれました。とても素晴らしい証(あかし)でした。

自分の思うような人生をおくることは誰もできません。時にはなぜ私だけがこのような思いをしなければならぬの?と叫びたくなるようなことも起こります。でも、そのことを通して、神様が私たちにメッセージを送って下さっていると思えるなら(信じられたら)人生の見え方、姿勢が大きく変わります。

2018年1月17日(水)

